

景気動向調査結果

(平成27年10月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 27 年 10 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 27 年 11 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、465 社（製造業 244 社（うち面接 64 社）、非製造業 221 社）で、回答率は 66.4 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成27年10月の景気動向

1 総論

長野県経済は、回復に向けた動きに弱さがみられます。

製造業では、中国など新興国経済の減速の影響などを受け、ほとんどの業種で業況が悪化し、2期連続のマイナス水準となりました。また、円安に伴う原材料価格の上昇が続いています。

非製造業では、情報サービス業や飲食業・宿泊業で改善がみられたものの、小売業・卸売業で悪化したため、全体ではやや弱い動きがみられます。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（26年10月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 26.6$ となり、前回調査時（27年7月）の $\Delta 0.4$ より26.2ポイント悪化しました。

3か月前（27年7月）と比較したD Iは $\Delta 20.0$ となり、前回調査時の $\Delta 3.3$ より16.7ポイント悪化し、2期連続のマイナス水準となりました。

なお、3か月後（28年1月）の予想では、中国をはじめとした新興国などの海外景気の先行きへの不安感等から、D Iは $\Delta 15.5$ となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は弱含んでいますが、スマートフォン向けの需要は一部に服感もみられるものの、堅調に推移しています。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、一部に受注、生産の減少がみられます。

イ 一般機械では、設備投資の回復基調に服感がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けなどの一部に弱めの動きがみられます。建設機械は、国内向けは受注、生産が堅調に推移しているほか、海外向けは北米や欧州を中心とした需要にけん引され、受注、生産が順調に推移しています。

ウ 精密では、時計は高価格帯製品を中心に受注、生産が順調に推移しています。レンズは、自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には服感もみられます。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産に服感がみられるものの、LPガスメーターは取換需要等により受注、生産が増加しています。

エ 自動車部品では、海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、新興国向けや国内向けの一部には弱さもみられます。

オ 食料品では、味そは需要期を控え、3か月前と比べ受注、生産が増加しているものの、原材料価格上昇等による収益率の低下がみられます。酒類は消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注、生産の増加がみられます。飲料は季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産の減少がみられます。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が22.4%と前回(31.4%)より減少し、「減少」とする企業が43.6%と前回(30.6%)より増加した結果、D Iは前回(0.8)から大幅に悪化し、 $\Delta 21.2$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が16.6%と前回(21.0%)より減少し、「減少」とする企業が34.4%と前回(25.5%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 4.5$)より悪化し、 $\Delta 17.8$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が14.5%、「減少」とする企業が31.1%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 5.1$)より悪化し、 $\Delta 16.6$ となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が23.5%と前回(30.0%)より減少し、「減少」とする企業が44.9%と前回(30.9%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 0.9$)から大幅に悪化し、 $\Delta 21.4$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が17.7%と前回(23.0%)より減少し、「減少」とする企業が34.6%と前回(23.4%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 0.4$)より悪化し、 $\Delta 16.9$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が16.5%、「減少」とする企業が32.2%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 1.7$)より悪化し、 $\Delta 15.7$ となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が10.3%と前回(10.7%)とほぼ同じとなり、「安い」とする企業が27.2%と前回(25.2%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 14.5$)より悪化し、 $\Delta 16.9$ となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が4.5%と前回(2.5%)より増加し、「安い」とする企業が12.4%と前回(11.9%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回($\Delta 9.4$)より改善し、 $\Delta 7.9$ となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.9%、「安い」とする企業が16.0%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 7.1$)より悪化し、 $\Delta 13.1$ となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が前回と同じ8.4%となり、「苦しい」とする企業が19.4%と前回(19.0%)とほぼ同じとなった結果、D Iは前回($\Delta 10.6$)とほぼ同じ $\Delta 11.0$ となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が4.6%と前回(6.3%)より減少し、「苦しい」とする企業が13.1%と前回(11.8%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 5.5$)より悪化し、 $\Delta 8.5$ となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が6.8%、「苦しい」とする企業が15.2%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 10.6$)より改善し、 $\Delta 8.4$ となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が14.0%と前回(18.0%)より減少し、「低下」とする企業が47.9%と前回(39.3%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 21.3$)より悪化し、 $\Delta 33.9$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が11.5%と前回(11.4%)とほぼ同じとなり、「低下」とする企業が32.1%と前回(26.5%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 15.1$)より悪化し、 $\Delta 20.6$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が9.1%、「低下」とする企業が29.5%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 11.6$)より悪化し、 $\Delta 20.4$ となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は弱含んでいます。スマートフォン向けの需要は一部に一服感もみられるものの、堅調に推移しています。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。
- (半導体関連) 自動車関連向けは、海外需要にけん引され堅調に推移しているものの、中国など新興国経済野減速の影響などから、デジタル家電向けや産業用途では受注、生産が弱含んでいます。
- (プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けの一部に一服感もみられます。
- (抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、家電向けの一部で、中国など新興国経済の減速の影響などにより受注、生産が弱含んでいます。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が減少しています。
- (モーター等) 家電向けでは、一部に新興国需要の減少があるものの、北米を中心とした需要にけん引され、受注、生産が堅調に推移しています。産業用途や自動車関連向けでは一部に一服感もみられます。
- (その他) カーナビゲーションは、海外向けでは円安に伴う輸出環境の改善や、北米で続く好調な需要により受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

一般機械

- (工作機械) 設備投資の回復基調に一服感がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けなどの一部に弱めの動きがみられません。
- (金 型) 自動車関連向けは、受注、生産が弱含んでいます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産が堅調に推移しているほか、海外向けは北米や欧州を中心とした需要にけん引され、受注、生産が順調に推移しています。
- (農業用機械等) 国内向けでは季節的要因等により受注、生産が持ち直しているほか、海外向けでは北米での好調な需要により受注、生産が堅調に推移しています。

精 密 (時 計)	腕時計は高価格帯製品を中心に、受注、生産が順調に推移しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感もみられます。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産に一服感がみられるものの、LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、新興国向けや国内向けの一部には弱さもみられます。
食 料 品	
(味 そ)	需要期を控え、3か月前と比べ受注、生産が増加しているものの、原材料価格上昇等による収益率の低下がみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注、生産の増加がみられます。
(飲 料)	季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産の減少がみられます。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因等により3か月前と比べて受注が増加しているものの、円安の影響などによる収益率の低下がみられます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因等により、青果向けで受注、生産が増加しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産が堅調に推移しています。

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、情報サービス業や飲食業・宿泊業で改善がみられたものの、小売業・卸売業で悪化したため、全体ではやや弱い動きがみられます。

前年同期（26年10月）と比較したD Iは $\Delta 23.3$ となり、前回調査時（27年7月）の $\Delta 21.8$ から1.5ポイント悪化しました。

3か月前（27年7月）と比較したD Iは $\Delta 17.4$ となり、前回調査時の $\Delta 15.8$ と比較すると1.6ポイント悪化しました。

なお、3か月後（28年1月）の予想は、D Iは $\Delta 29.7$ と前回調査時の $\Delta 16.9$ と比較すると12.8ポイント悪化する見通しです。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況は、売上高D Iが改善したものの、人件費の上昇などにより収益率D Iが低下し、D Iが $\Delta 33.3$ と前回（ $\Delta 34.3$ ）とほぼ横ばいとなっています。

3か月後は、公共工事受注量の減少に加え経費の上昇などから、業況D Iの悪化が予想されます。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況は、マイナンバー制度関連による受注等もあり、受注件数D Iや売上高D Iが改善したことなどから、D Iが0.0となり、前回（ $\Delta 11.1$ ）より改善しました。

3か月後は、同業者間の価格競争や人手不足などから、厳しい受注環境が続くことが懸念され、業況D Iはマイナス水準となることが予想されます。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況は、D Iが $\Delta 32.6$ と前回（ $\Delta 23.2$ ）より悪化しました。

小売業では、消費に対する慎重な姿勢が続いていることなどから、客数D Iがマイナス水準にあるほか、売上高D Iも2期連続で悪化しました。一方、3か月後は物価の下落やプレミアム付商品券を利用した客数増加への期待もあり、業況D Iはマイナス水準ながらも改善が予想されます。

卸売業では、業態を越えた価格競争に加え、輸入商品などの仕入価格の上昇が続いていることから、業況D Iは大幅に悪化しました。また、3か月後も仕入価格の上昇分を十分に転嫁できない状況を懸念する企業が多く、業況D Iの悪化が予想されます。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況は、D Iが17.6と前回（ $\Delta 5.9$ ）より大幅に改善しました。

飲食業では、法人客の増加や北陸などからの観光客による売上が順調だったことなどから、業況D Iは大幅に改善しました。しかし、3か月後は、食材の価格上昇などの影響により厳しい収益環境の変化を懸念する企業が多く、業況D Iの悪化が予想されます。

宿泊業では、売上高D Iが3期連続でプラス水準を維持する中で、宿泊用のふるさと旅行券などにより客数が増加したことから、業況D Iは改善しました。しかし、3か月後は、食材などの仕入価格の上昇や人手不足による人件費の増加などから収益率D Iがマイナス水準に転じ、業況D Iも大幅な悪化が予想されます。

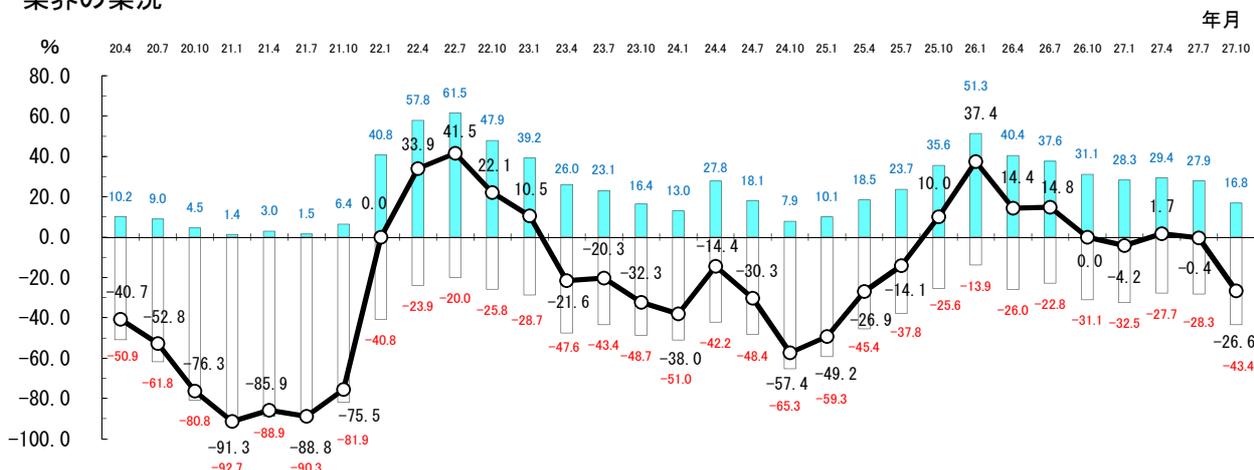
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

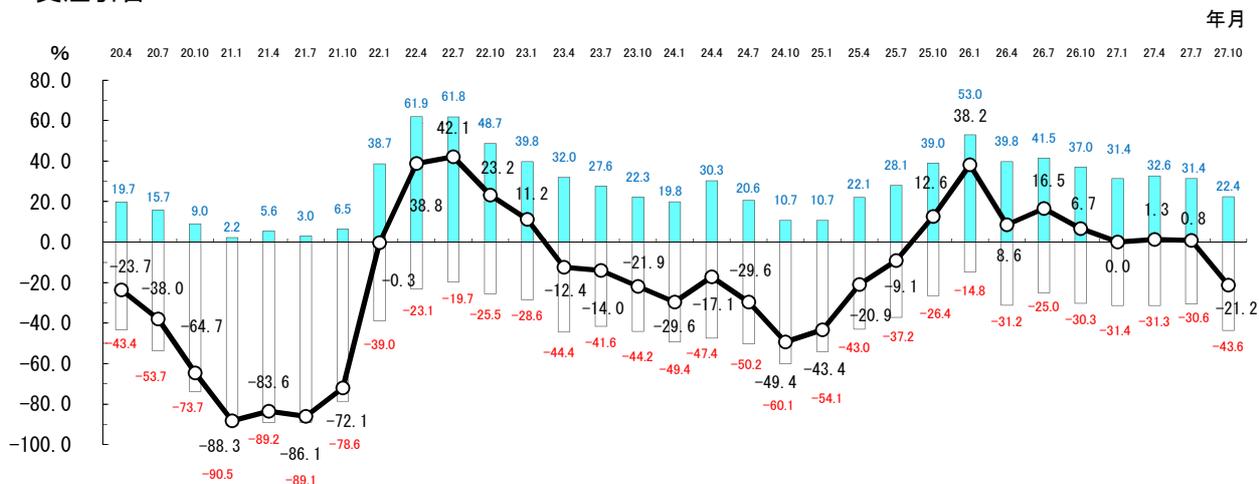
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

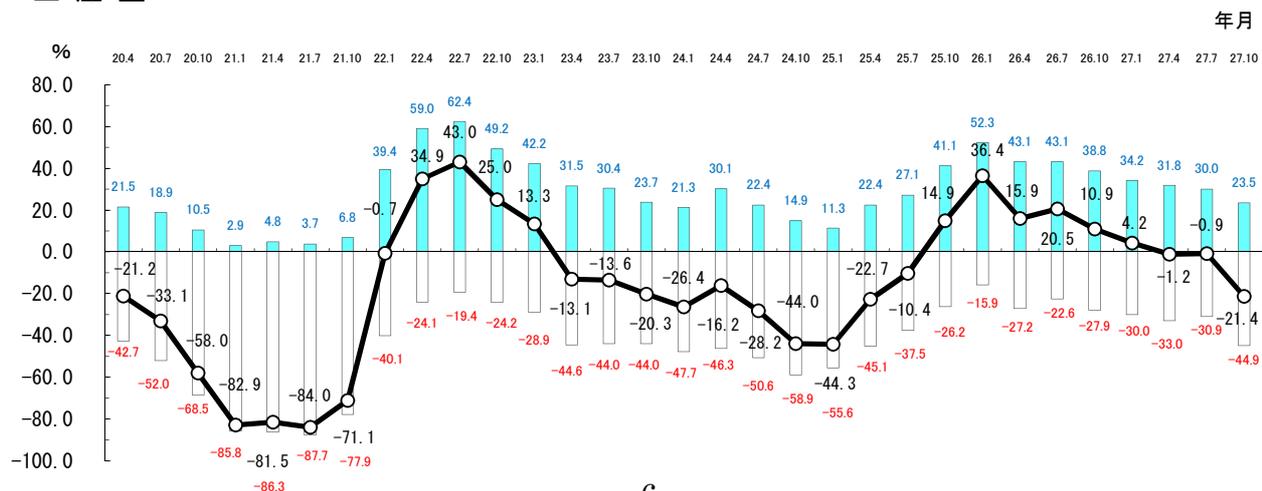
業界の業況



受注引合

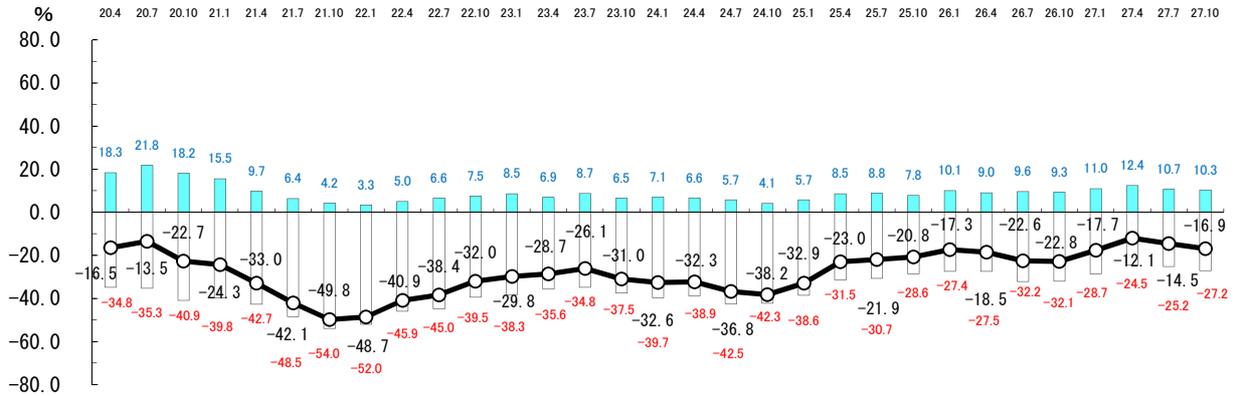


生産量



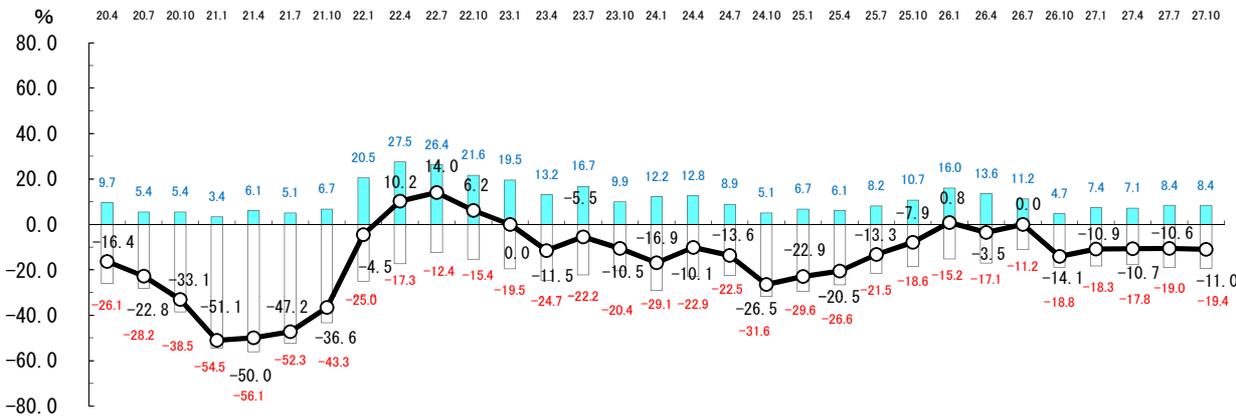
製品販売価格

年月



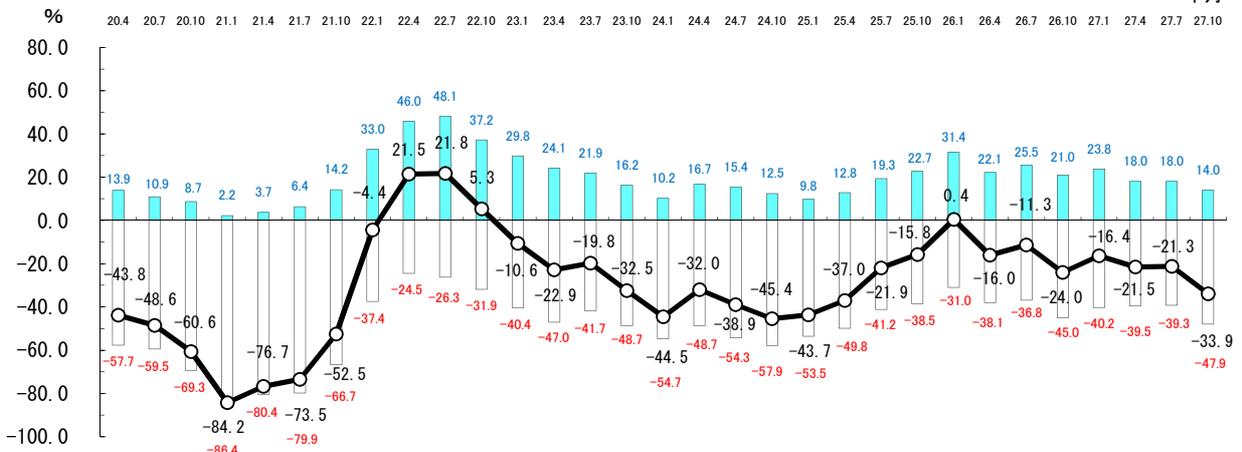
資金繰り

年月



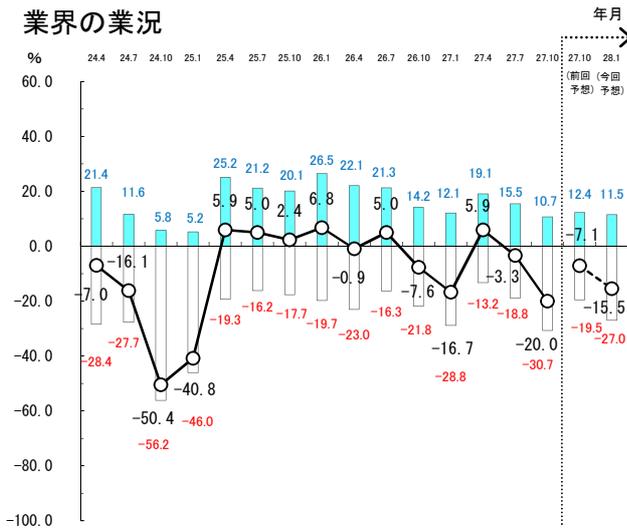
収益率

年月

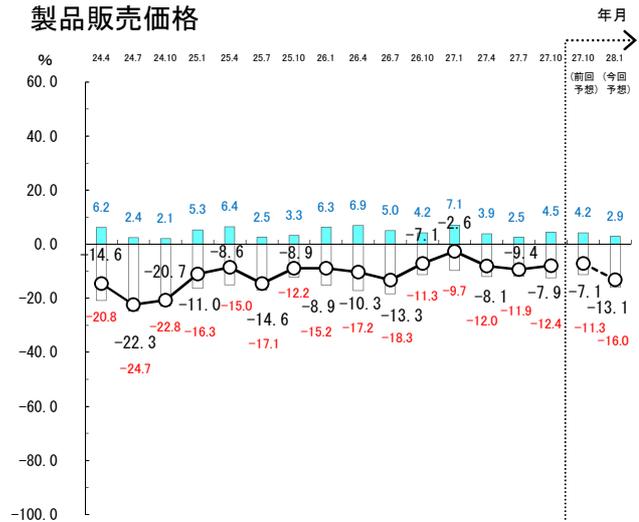


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

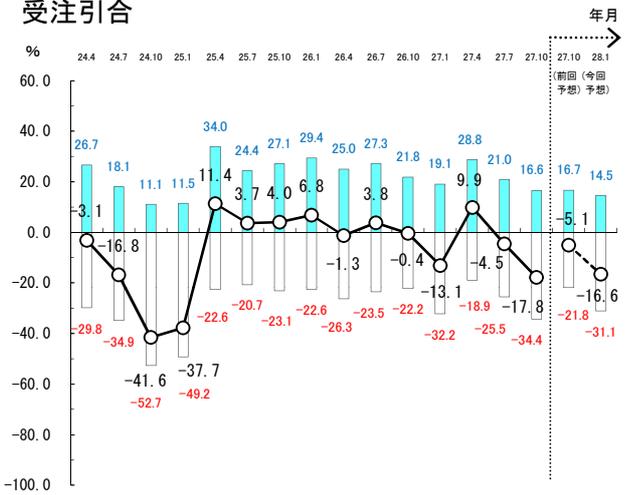
業界の業況



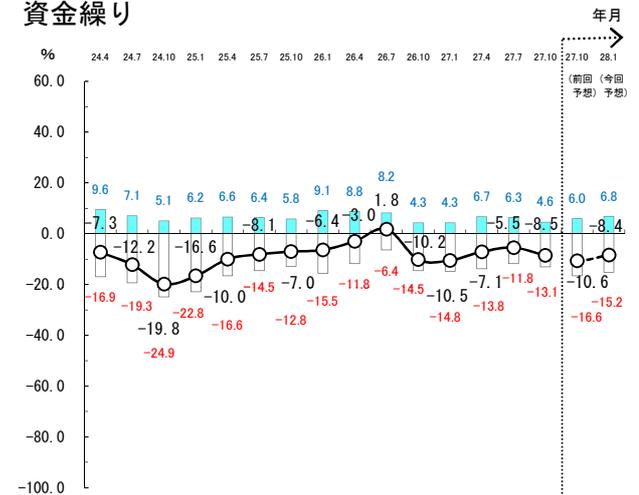
製品販売価格



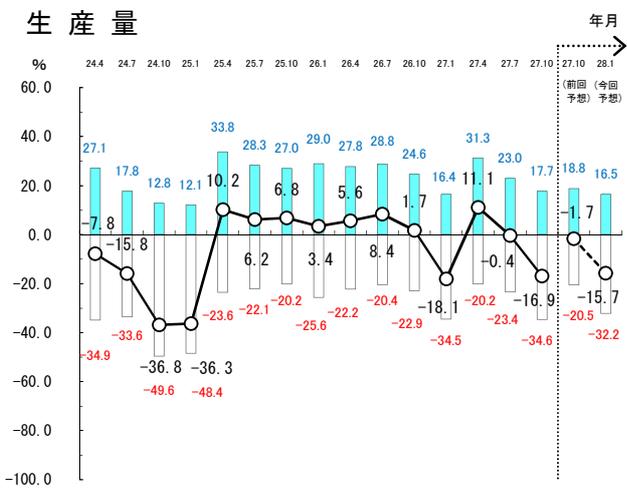
受注引合



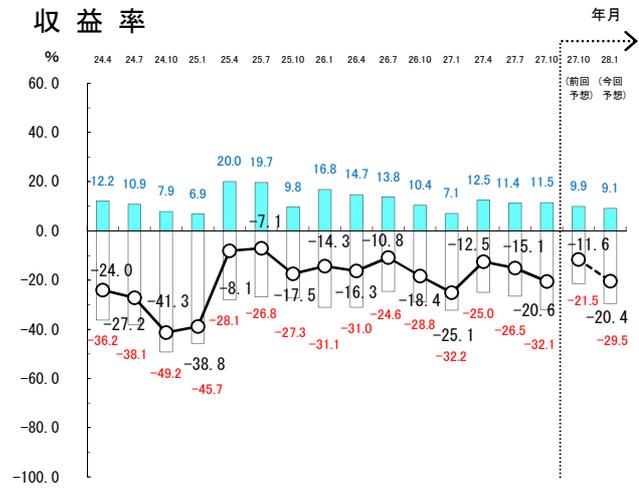
資金繰り



生産量



収益率

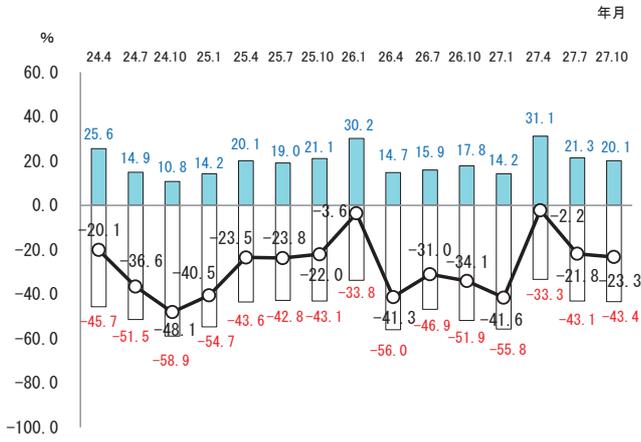


2 非製造業

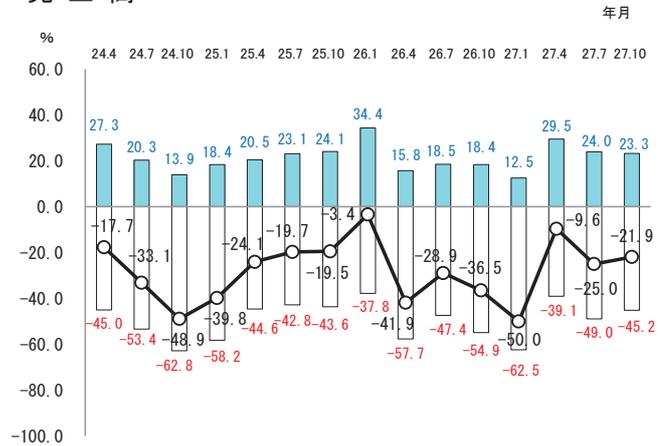
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

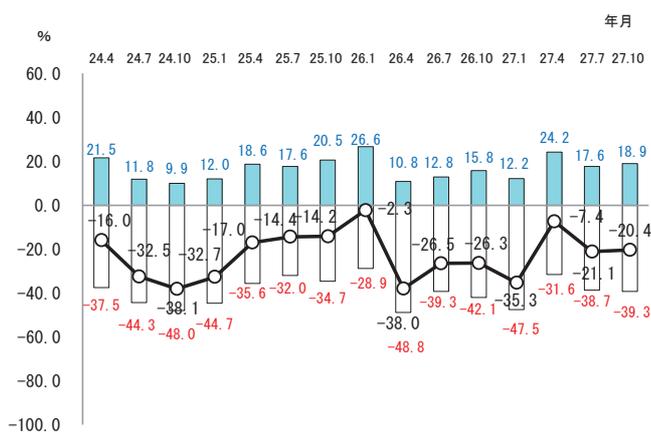
業況



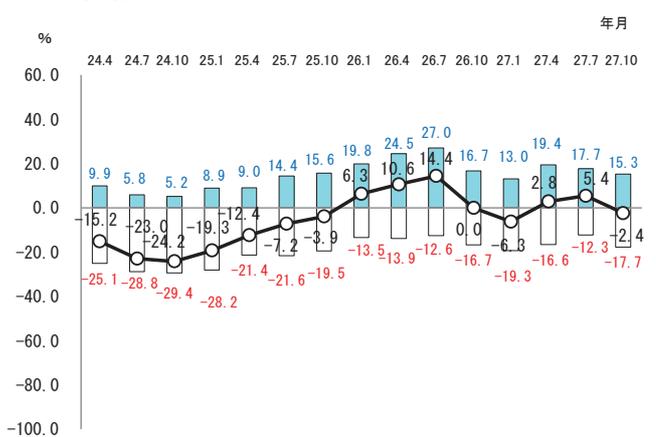
売上高



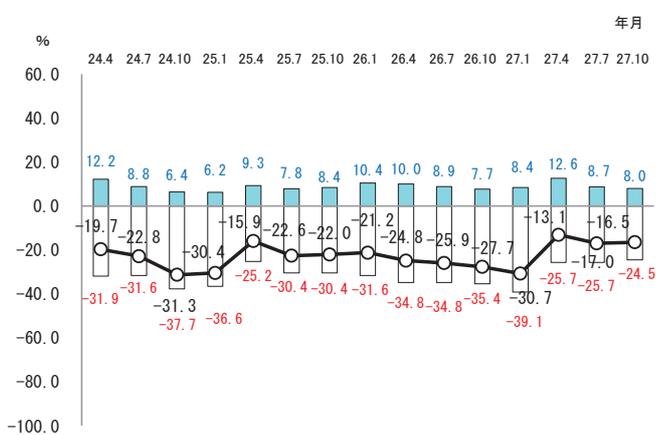
客数 (受注件数)



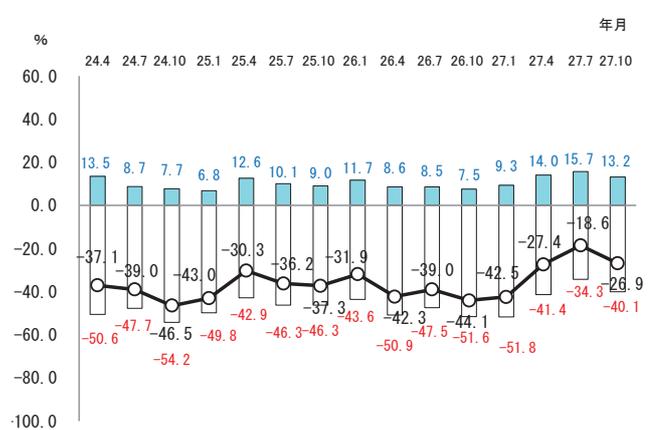
販売価格



資金繰り

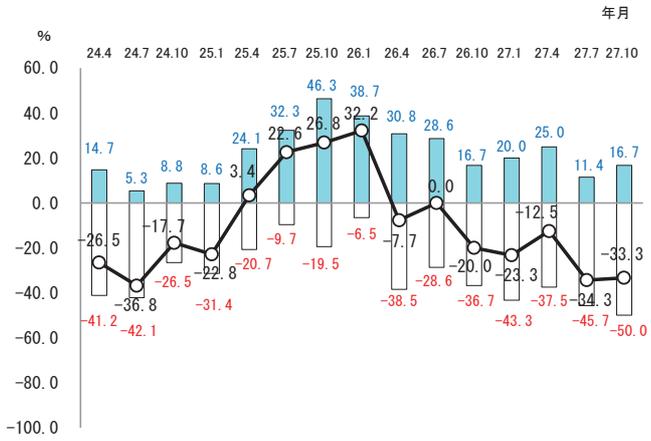


収益率

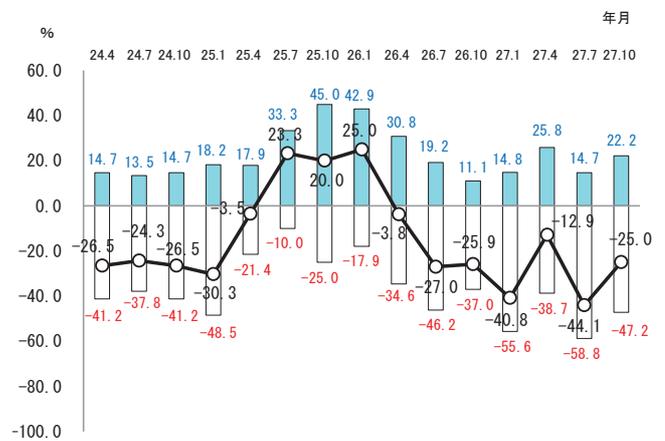


ア 建設業

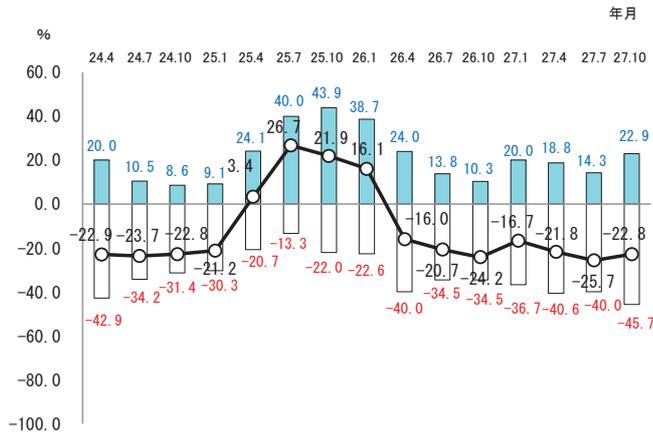
業況



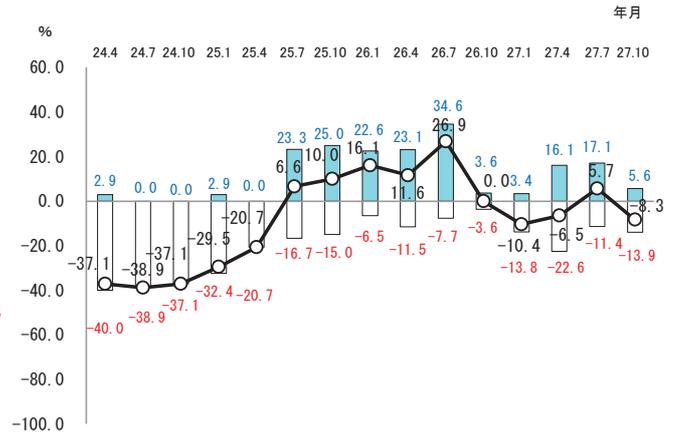
売上高



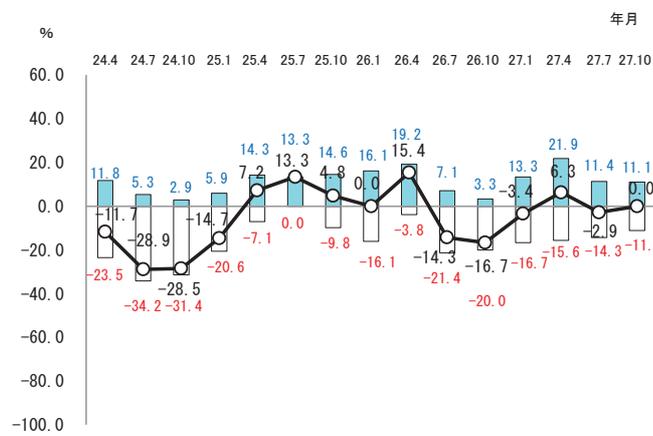
客数 (受案件数)



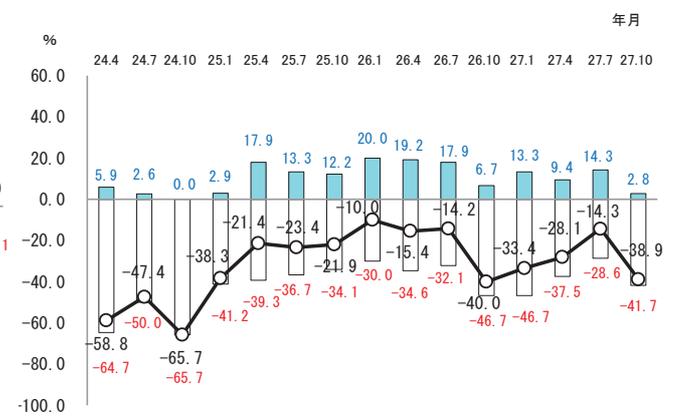
販売価格



資金繰り

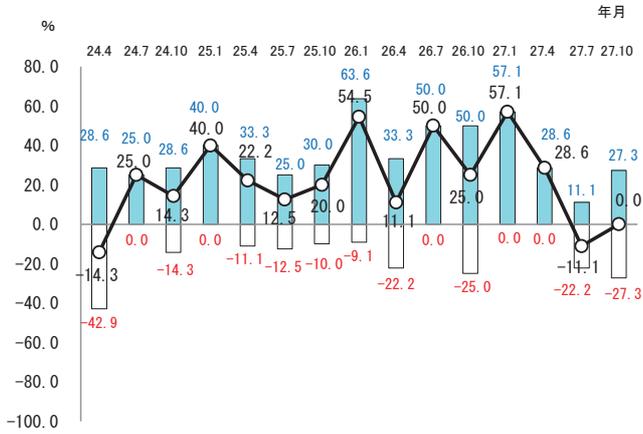


収益率

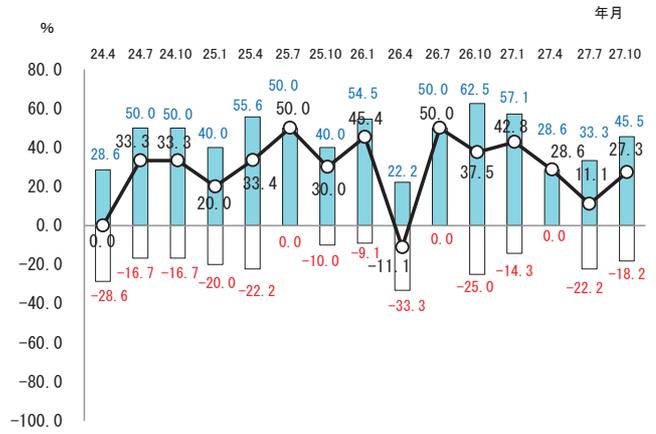


イ 情報サービス業

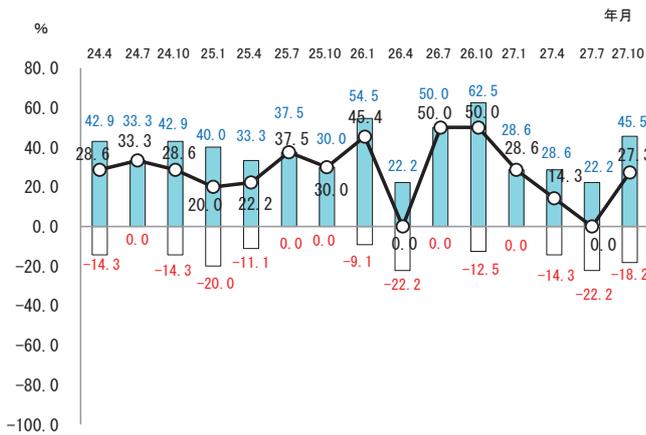
業況



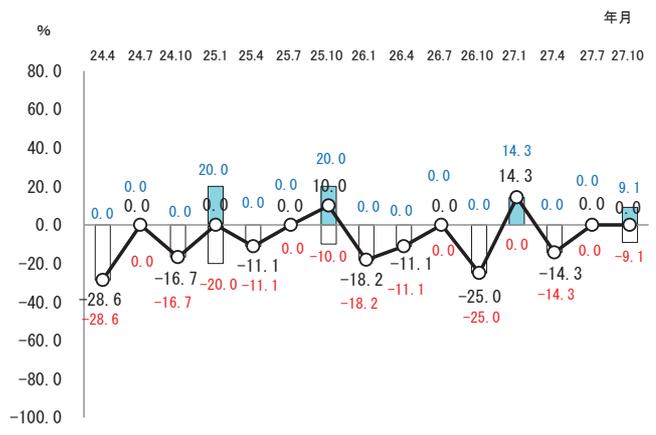
売上高



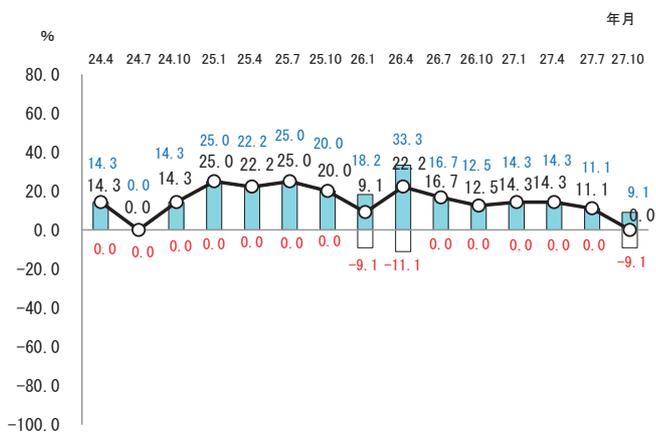
客数 (受注件数)



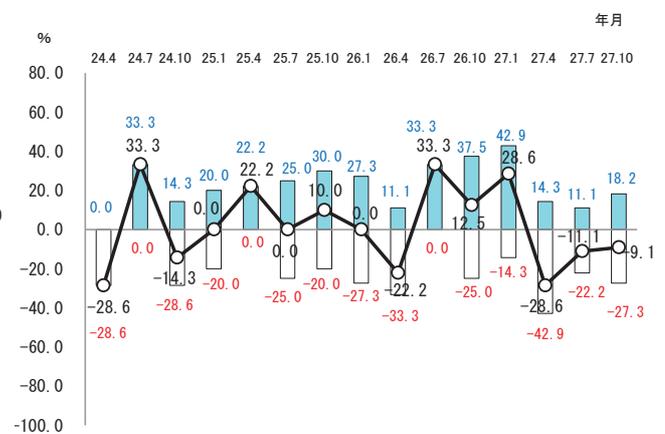
販売価格



資金繰り

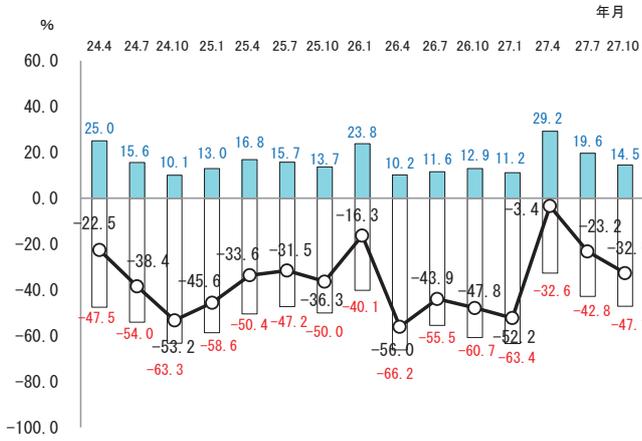


収益率

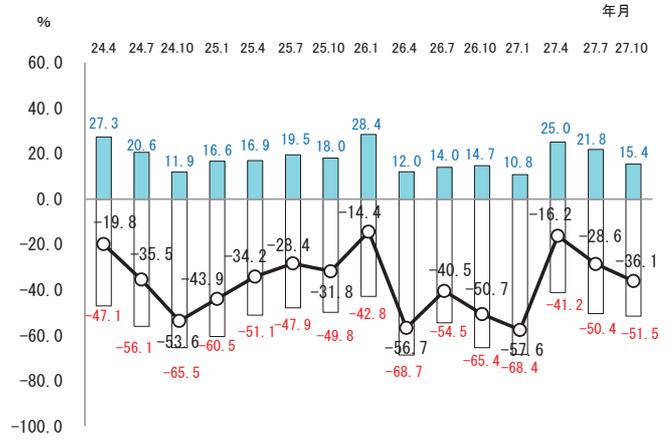


ウ 小売業・卸売業

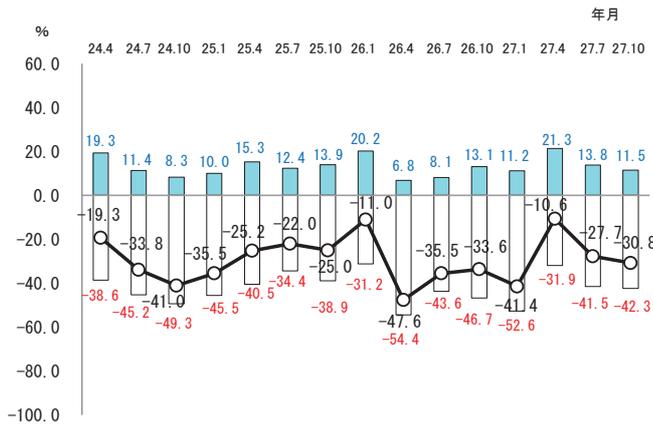
業況



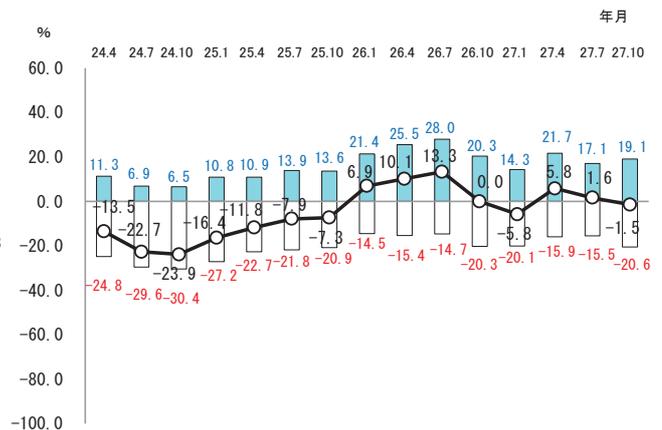
売上高



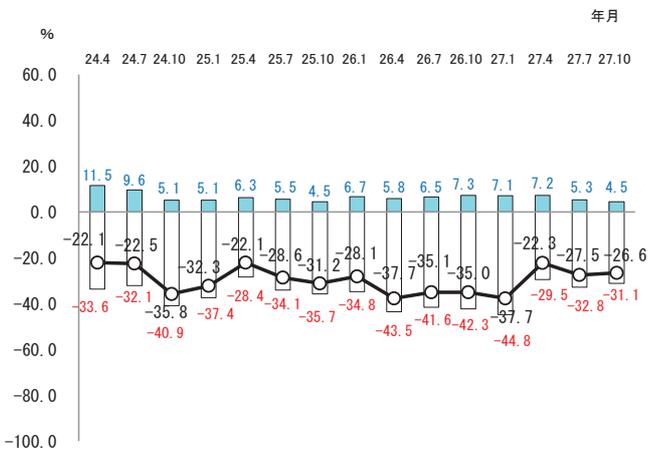
客数 (取引先数)



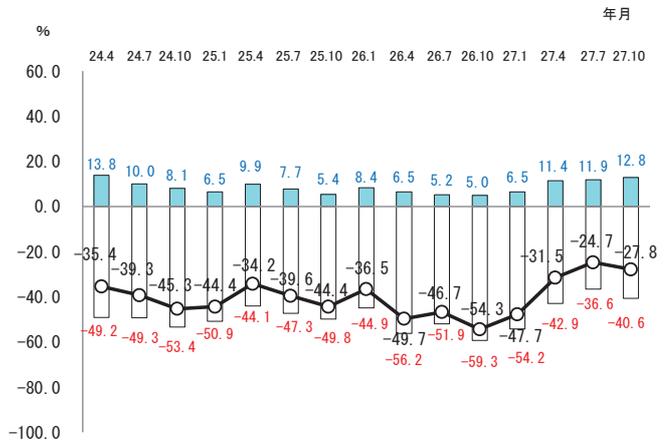
販売価格



資金繰り

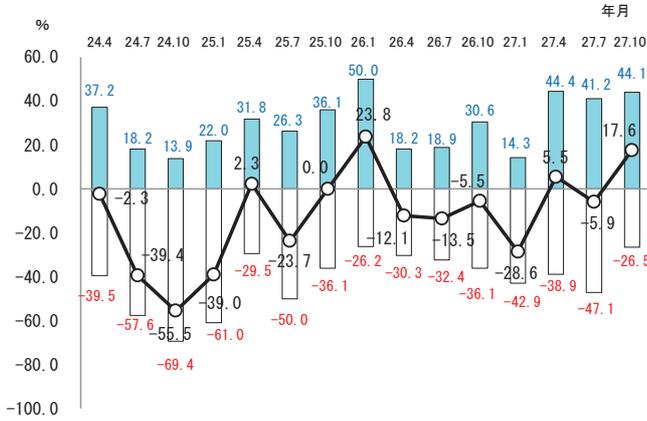


収益率

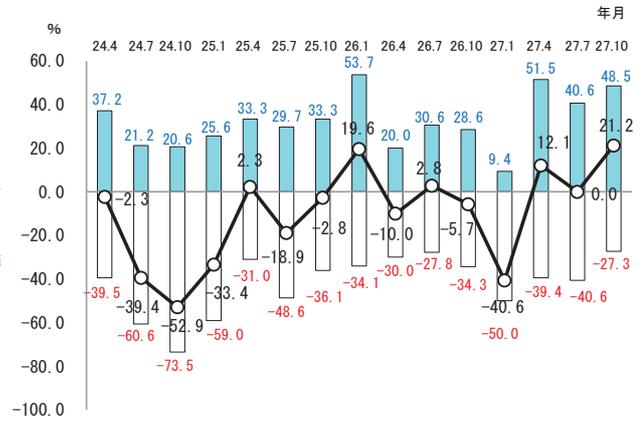


工 飲食業・宿泊業

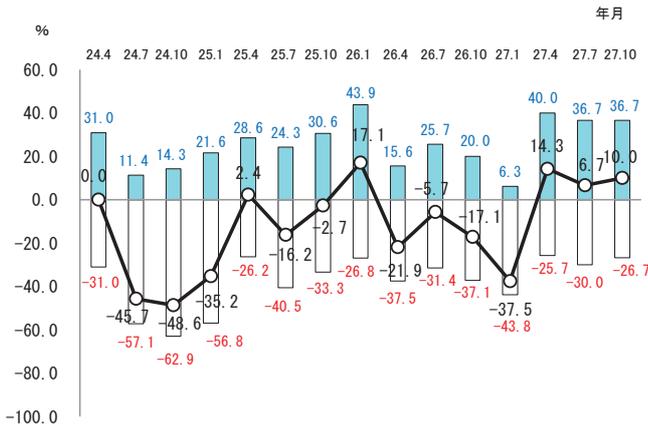
業況



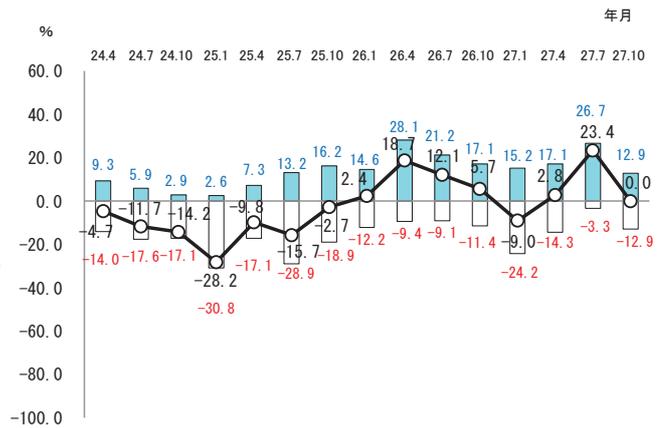
売上高



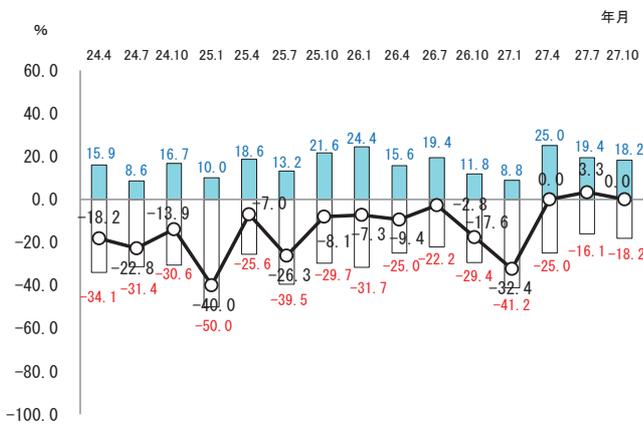
客数



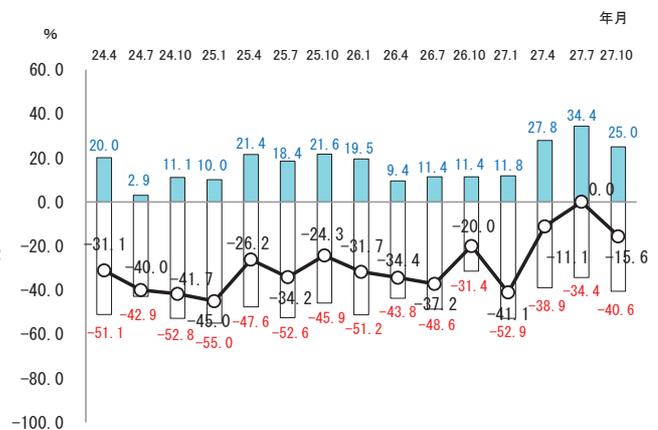
販売価格



資金繰り



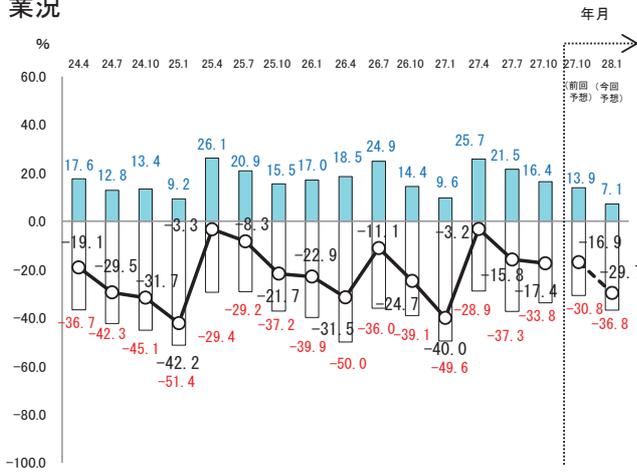
収益率



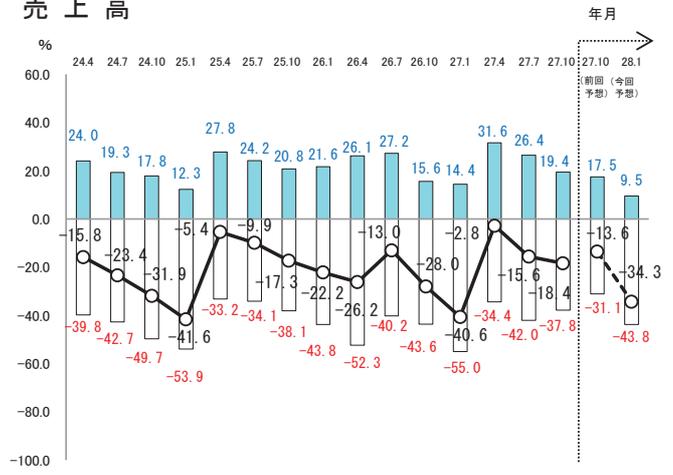
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

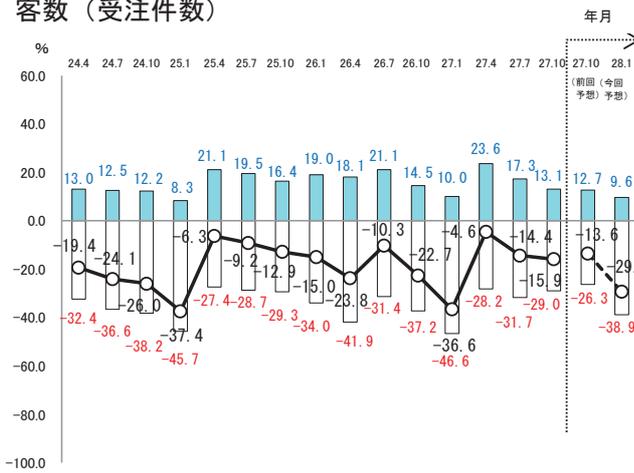
業況



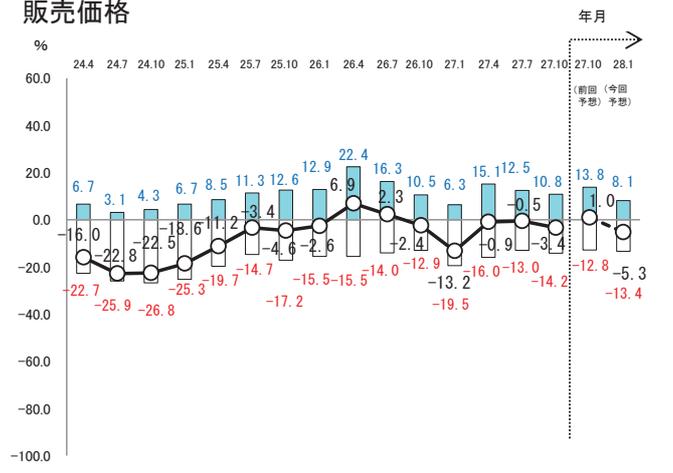
売上高



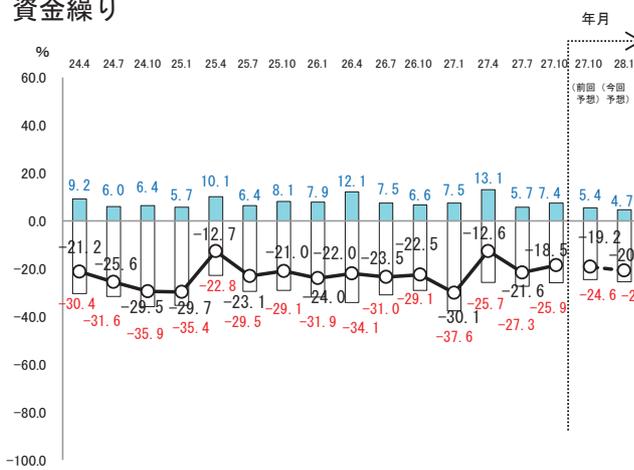
客数 (受注件数)



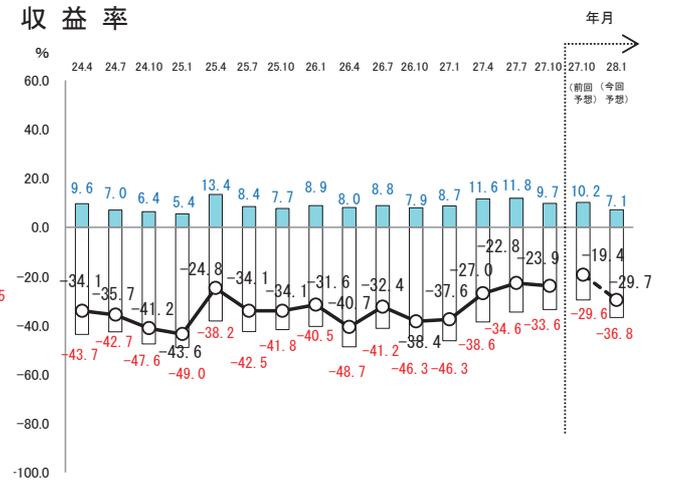
販売価格



資金繰り

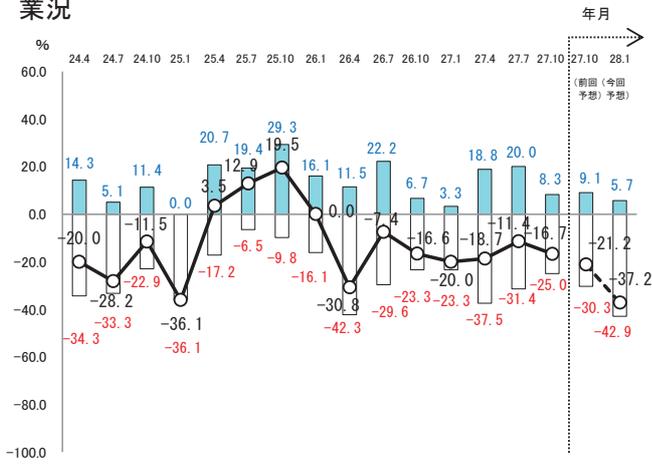


収益率

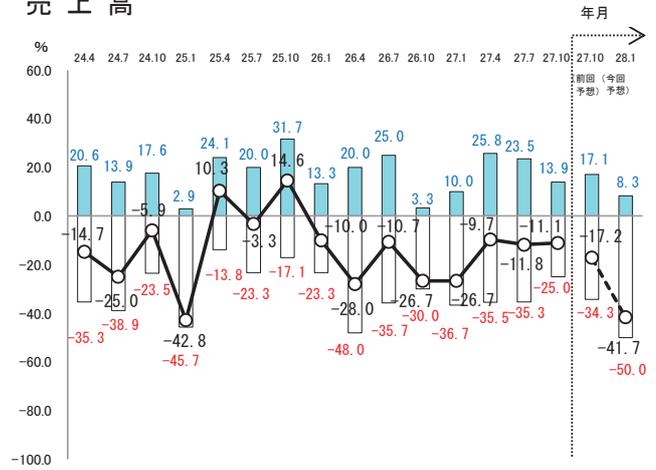


ア 建設業

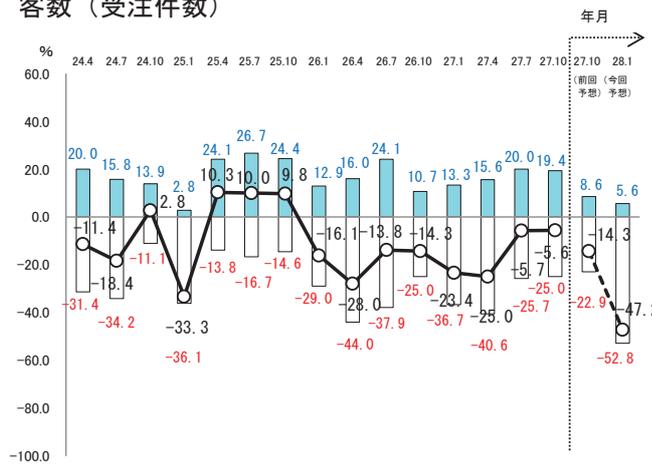
業況



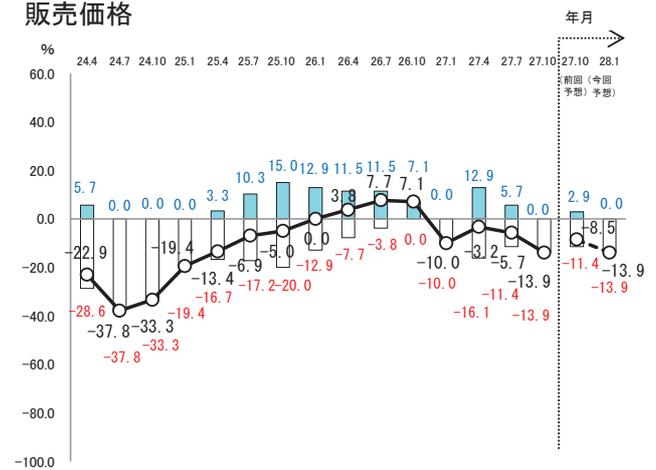
売上高



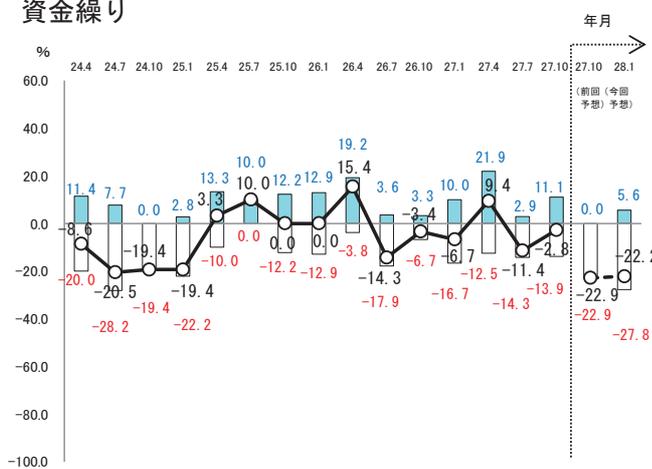
客数 (受注件数)



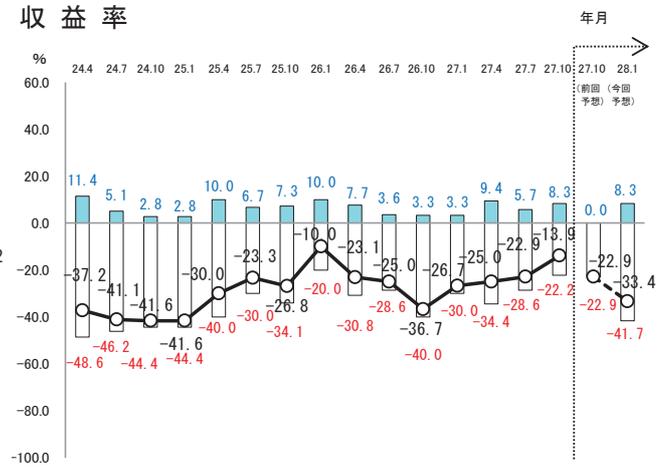
販売価格



資金繰り

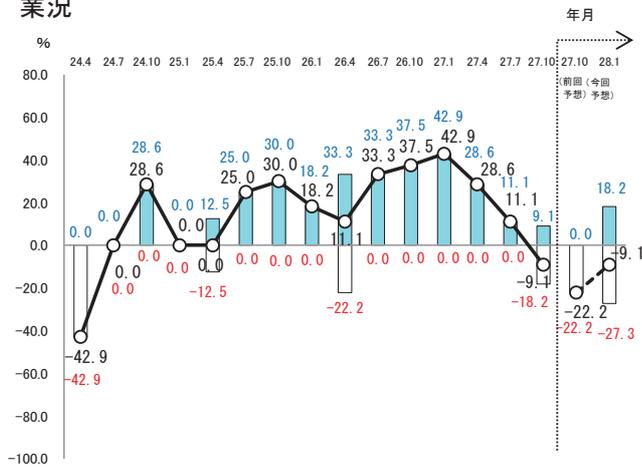


収益率

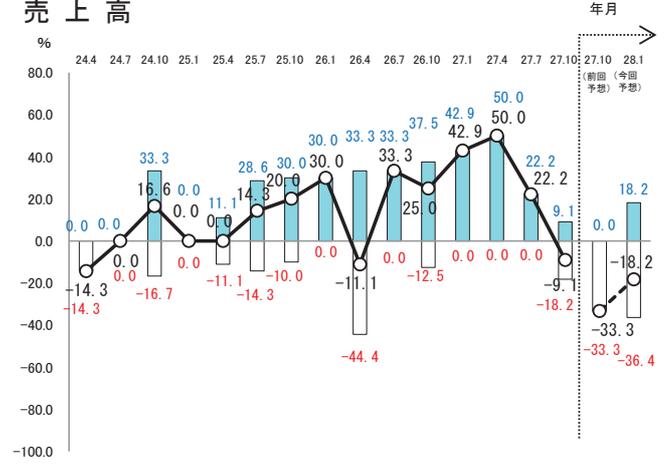


イ 情報サービス業

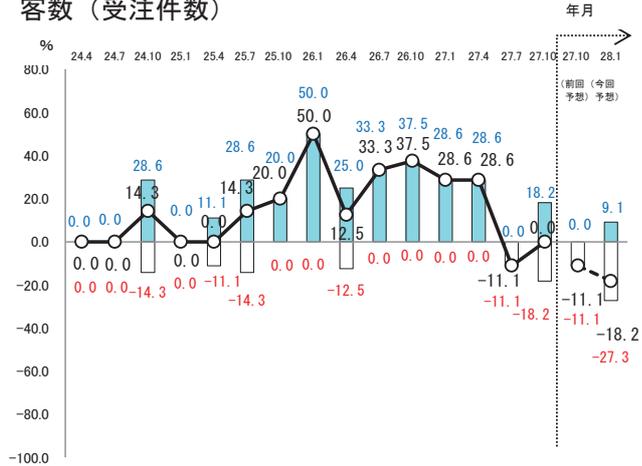
業況



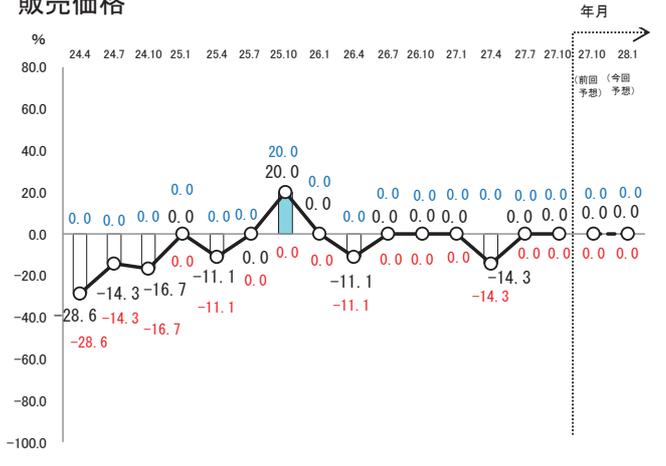
売上高



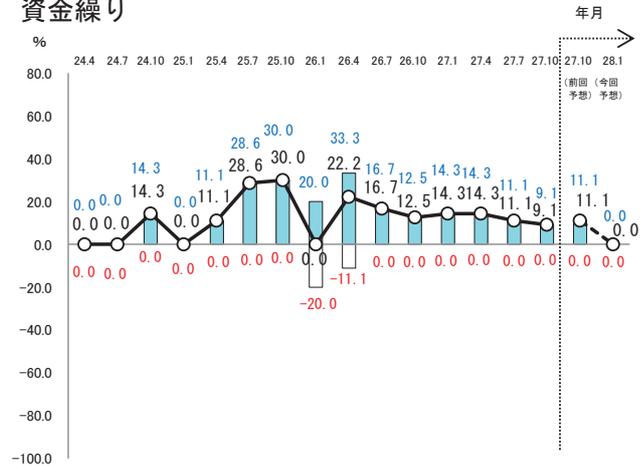
客数 (受注件数)



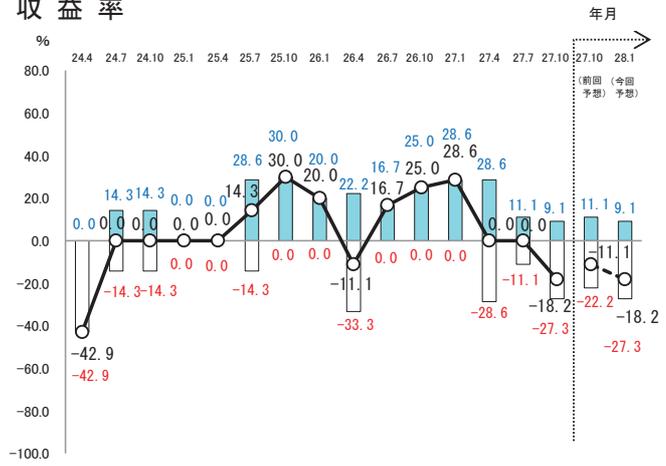
販売価格



資金繰り

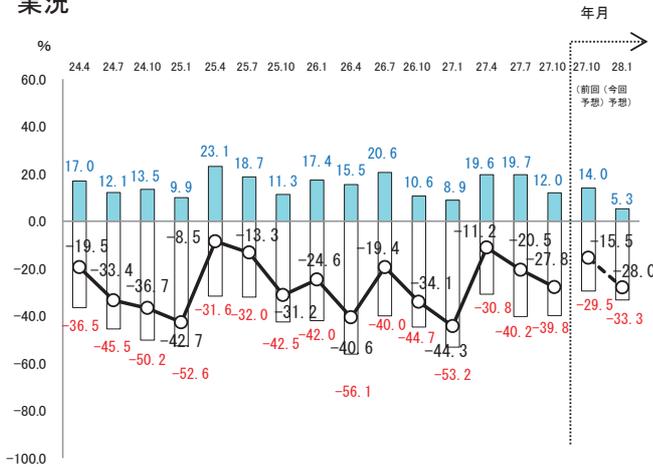


収益率

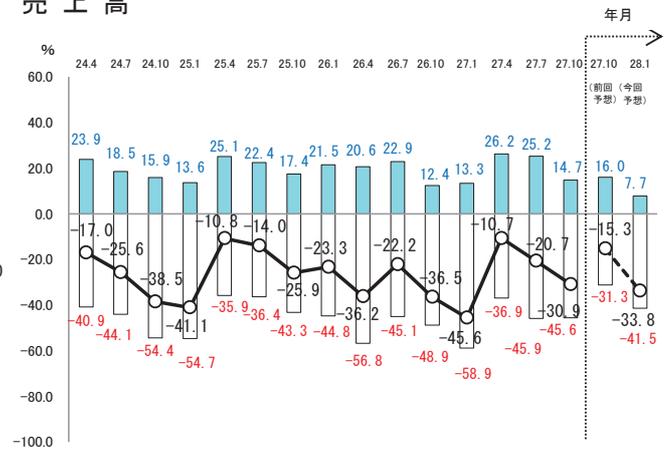


ウ 小売業・卸売業

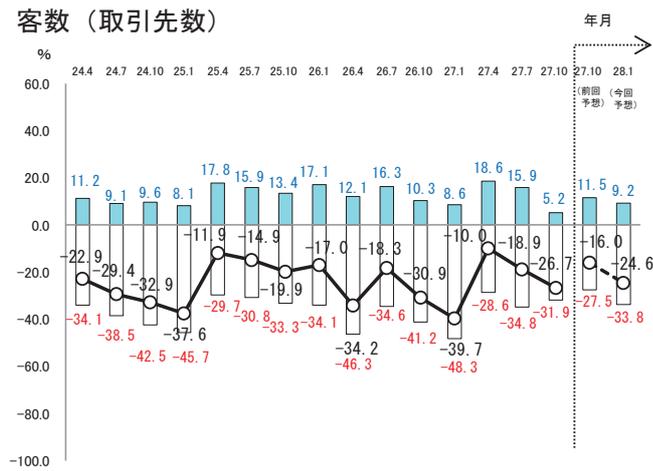
業況



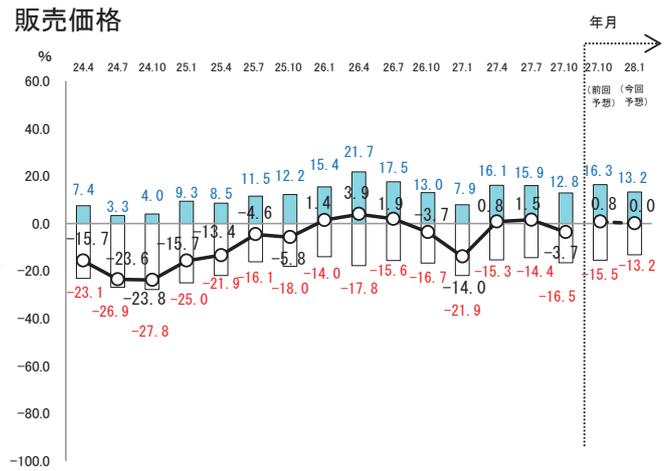
売上高



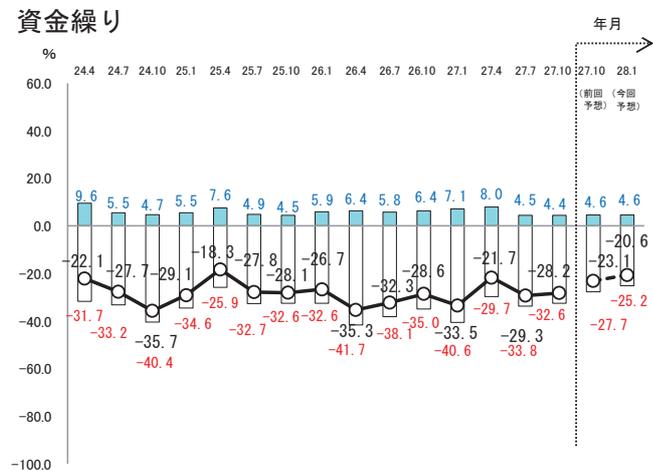
客数 (取引先数)



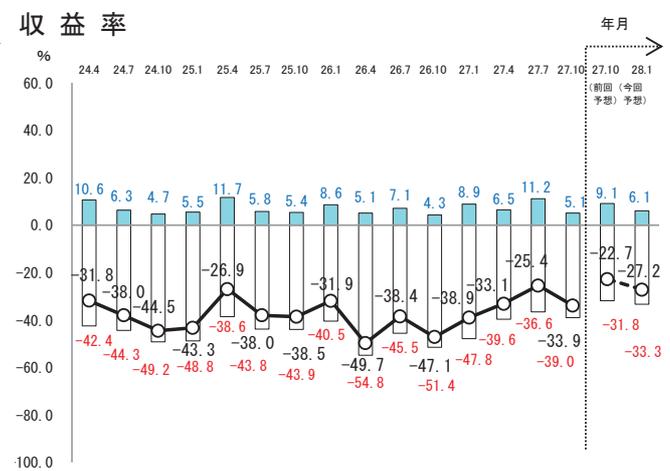
販売価格



資金繰り

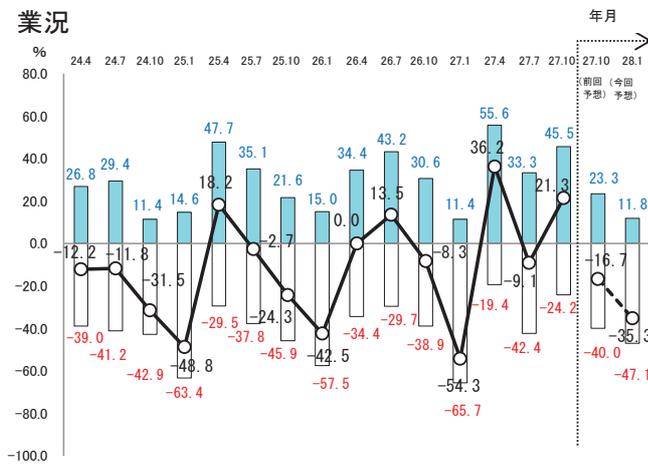


収益率

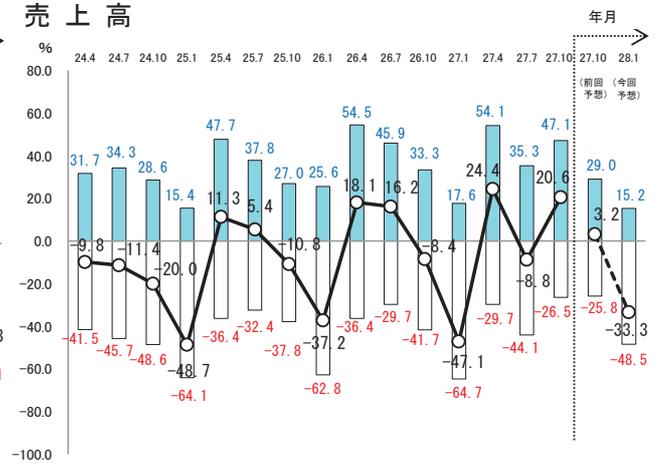


工 飲食業・宿泊業

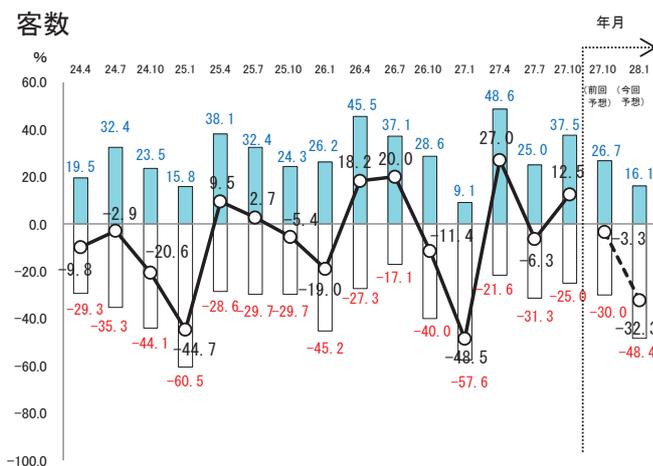
業況



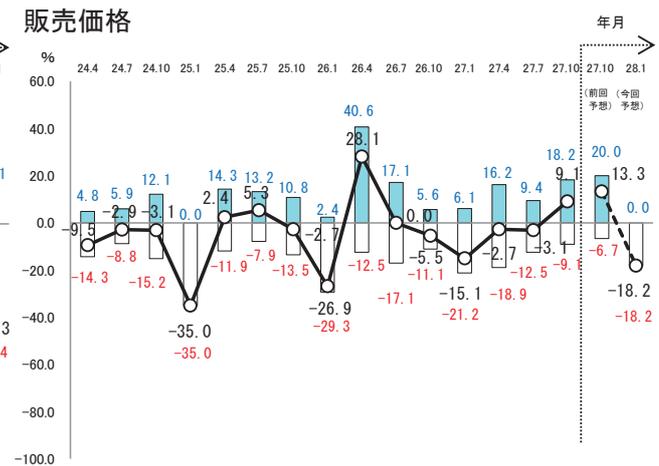
売上高



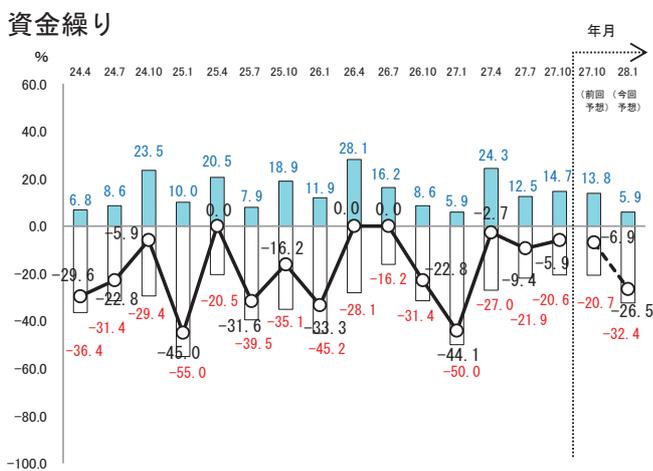
客数



販売価格



資金繰り



収益率

